

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」

平成28年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年12月2日(金)発行 第 33 号 発行責任者:高橋 弘悦

柳津町子ども議会開催

29日、2年生4名が柳津町子ども議会に参加しました。実際に町議会が開催される本会議場での開催、また議会中は生徒ではなく「〇〇議員」の呼称で呼ばれるなど、実際の議会と同様、厳粛で、緊張感のある議会となりました。

議会は、生徒の一般質問に対して町長さんや教育長さんが答弁するという、通常の議会と同じ形式でしたが、傍聴席に座る本物の議員さんからは「非常にわかりやすいことばで、また、質問するだけでなく提案があるところが素晴らしい。」という感想をいただきました。

新聞社の取材も入り、ライブ画像が役場および支所のロビーに中継されるという、大人でも緊張するシチュエーションながら、本校から質問に立った代表の2名は堂々とした態度で責務を果たすことができました。

中学生の意見は発想が新鮮で、疑問点を素直に表現していることから、すぐにでも実施に移すことができるようなこともあります。

ぜひ、柳津町のために、将来この席に座って尽力する人材が育って欲しいものだと思います。



子ども議会に臨む生徒たち

中学生議員 町政ただす

柳津で子ども議会 地方創生やエコ発電

柳津町の「子ども議会」は11月29日、町役場議場で開かれ、一般質問で登壇した生徒たちが本物の議員さながらに町政をただした。町政や議会への理解を深めてもらおうと、2006(平成18)年以来10年ぶりに開催した。柳津、西山両中学校の生徒18人が「議員」となり、代表で8人が一般質問に臨んだ。



質問内容は、①地方創生について②18年度に開校予定の統合中について③西山、柳津両地区を結ぶトンネル建設の見通しについてなど。

このうち、エコ発電推進などの内容について質問した佐藤尊さん(柳津中)は、「太陽光パネルを公共施設に設置してほしい」などと提案。井関庄一町長は役場本庁舎などにパネルを設置している現状を紹介し、再生可能エネルギー普及に取り組む考えを示した。

議会後は懇談会も開かれ、出席者が活発に意見を交わした。

↑
12.1付け
福島民友より

これからの学校の役割

次のような一文に出会いました。どのような感想をお持ちでしょうか？

従来、授業においては、子どもの「学び」より、授業の評価の主眼は教師の「教え（教授）」にありました。いかに学習すべき内容を子どもたちにわかりやすく、効果的に、効率的に教えることができたか、です。子どもたちは先生が「教える」内容を、しっかりと理解（暗記）するために、黒板に書かれた内容をノートに写し取りました。明治に近代学校制度が始まって以来、ほぼ変わらない一斉学習による「教え」が脈々と現在まで引き継がれてきました。学習すべき内容は先生が知っていて、それを授けてもらう場所が学校でした。

しかし今や「第4次産業革命」といわれる時代のまっただ中を、子どもたち、そして私たちは生きています。これまで先生が教えてくれた、先生しか知らなかった内容は全てインターネットで調べることが出来ます。情報技術を使えば、学校に行かなくても、先生に教えてもらわなくても自分で学べる時代なのです。

「教える人」から「支援する人」へ。情報技術が発達した今は、子どもたち一人ひとりの「自己学習力」をしっかり育て、「学び」をさらに深めていけるようにすることこそが先生の役割だと思います。これからは「教える」役目は機械が担ってくれる時代になるかもしれません。しかし「学び」を深めていくプロセスは学校でしかできません。学校で、学級の仲間と「学び」あう楽しさ、難しさを体験しながらお互いを尊重し、デジタル技術をあたりまえの基盤として新しい価値を創造していく。そんな「学び」が、今学校に求められているのだと心の底から思っています。

実際には競争試験に勝つための「知識」が求められ、結果として得られる「学力」が重視される現状がありますのでこのことのみが学校の仕事にはなり得ませんが、知識や情報元が限られていた明治時代と現代の教育が同じであってよいはありません。

知識や技能を身に付けさせるとともに、i) 「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」 ii) 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」 iii) 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」を視点に、今後の教育を考えていく必要があるのではないかと考えさせられました。



明日は教育を語る会

すでにご存じと思いますが、明日3日、町民センターにおいて柳津町教育を語る会が開催されます。講師は「バカヤンキーでも死ぬ気でやれば世界の名門大学で戦える」の著者 鈴木 琢也 さんです。いわゆる「横道にそれた」中高生時代を経て、世界の一流大学に進学した経歴の持ち主です。ぜひ中学生にも聞かせたいとの考えから、参加しやすい14:00からの開催となっています。学校主催の行事ではありませんが、またとない機会ですので本校生徒にはぜひ参加させたいと思います。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

